

地域に広がる協働の“輪”

## 県内の元気な協働事例・大集合！

～ 第3回協働事例発表会「協働の底力。」を開催～

県では、協働による公共事業を進めていますが、県内のいろいろな場所で「魅力ある地域づくりの活動」が活発に行われています。

こうした活動を知ってもらい、『協働の輪』を広めていきたいという皆さんの強い思いが、第3回目となる協働事例発表会(12月16日)を開催させました。

### 協働事例発表会のねらい

土木部では、地域にとって利用しやすい快適な空間を整備するため、公共事業の構想段階から設計・施工、維持管理までを地域やNPOとの協働で進めています。

こうした協働の取組を広く知ってもらいたい、「協働の輪」を広げていきたい、そんな思いを込めて平成16年度から事例発表会『協働の底力。』を開催しています。



### 企画段階から協働で取り組み

この協働事例発表会を開催するにあたっては、当初からNPO団体や行政担当者が構成する実行委員会(通称:「底力組」)を立ち上げ、毎回熱い議論を繰り広げながら、企画・運営に取り組んでいます。

今年度は『県内各地に協働の輪を広げよう』をコンセプトに、各地域で活動している方々の話を聞き、その取組を発表会に反映していくことになりました。



実行委員会「底力組」の開催風景

### 県内各地域で「くるま座会」を開催

発表会に先立ち、NPOをはじめ地域で活動する皆さんと行政職員が、意見を交換する「くるま座会」を東・中・西の3地域で開催しました。



中部地域くるま座会の開催風景

今後もこの取組を続けていきますので、多くの方々が参加することを期待しています。

第3回協働事例発表会

午前の部：「基調講演」

静岡大学人文学部の日詰一幸教授が、『地域に広がる協働の“輪”』と題する基調講演を行いました。

協働の持つ意義や、地域づくりを進める上でどのような協働が必要なのか、協働をうまく進めるための秘訣は何なのかなどを、住民と行政のそれぞれの立場からわかりやすく解説してくれました。



日詰教授の基調講演

午後の部：『みんなでトーク』

最後に、日詰教授と「底力組」の小野寺郷子さんをコーディネーターに迎え、パネルディスカッションを行いました。

ここでは、各団体の持つ課題や苦労している点など、活動における本音の部分を変えながら、熱心な意見交換が行われました。



会場が一体となって参加  
(旗上げアンケート)

午後の部：「事例発表」

東・中・西地域からそれぞれ3団体、計9団体が、活動事例を発表しました。

どの団体も「地域を愛している」「魅力ある地域をつくっていこう」という気持ちが表れ、たいへん暖かみのある事例を聞くことができました。

この日、特別に参加された知事からも、「協働はこれからの静岡県をいい地域に作り上げていく上でのキーポイントである。」のコメントを頂きました。



知事のあいさつ



行政担当者と  
団体代表者が  
一緒に事例を  
発表  
(これも協働)

事例発表団体

- 1 宇佐美流域会議 (伊東市)
- 2 天竜花の会船明(ふなぎら)支部(浜松市)
- 3 神田川を活かしたまちづくり  
ワークショップ(富士宮市)
- 4 三ヶ日「みかん里資料館」(浜松市)
- 5 森と水辺を育てる会(静岡市清水区)
- 6 夢生(ゆう)の会(静岡市清水区)
- 7 倉真(くらみ)まちづくり委員会(掛川市)
- 8 丸子芹が谷町防災対策委員会(静岡市駿河区)
- 9 松川周辺地区まちづくり推進協議会(伊東市)

この事業の数値目標  
県民の地域活動への参加状況 平成22年度

70%以上

次の「日本一」にも貢献しています

- |           |                             |
|-----------|-----------------------------|
| 自然環境日本一   | 水環境の保全、多様な自然環境の保全と復元        |
| 安心・安全日本一  | 風水害、土砂災害の予防対策の推進による対策       |
| くらし利便性日本一 | 道路交通体系の整備、港湾の整備と海のネットワークの形成 |